

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

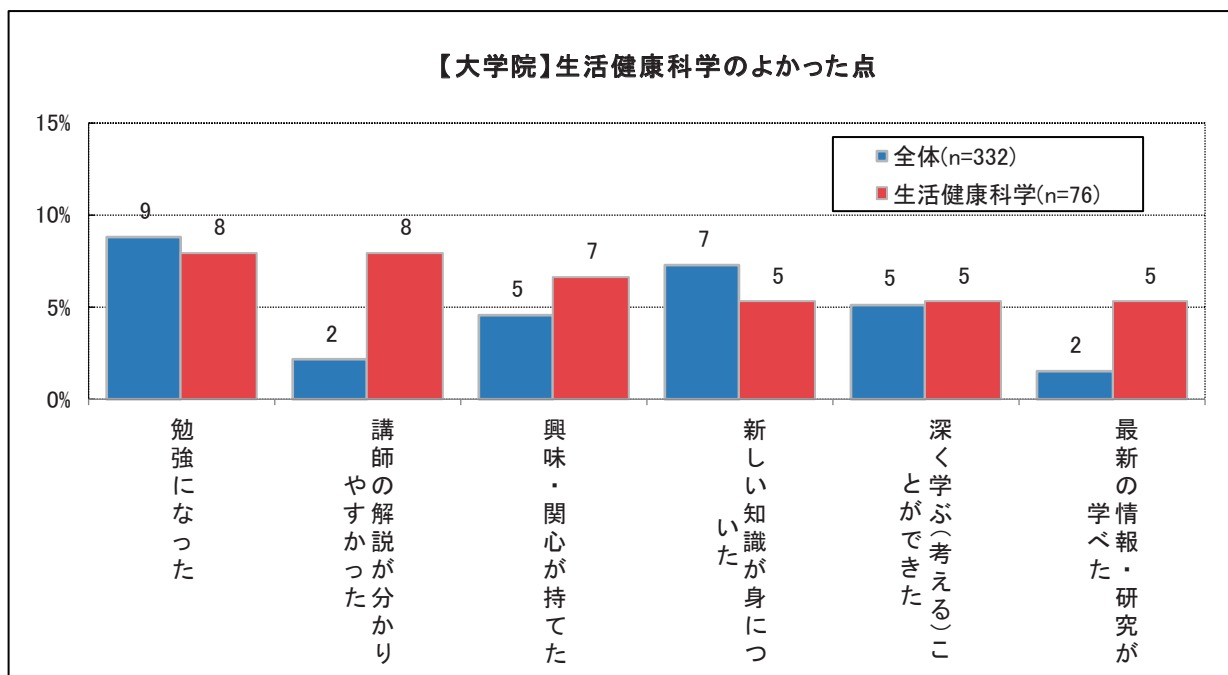
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「講師の解説が分かりやすかった」がそれぞれ8%と最も高く、次いで「興味・関心が持てた」が7%で続いていた。「講師の解説が分かりやすかった」は全体との差が大きく、生活健康科学の特徴的な項目となっている。

図4-1 【大学院】よかった点

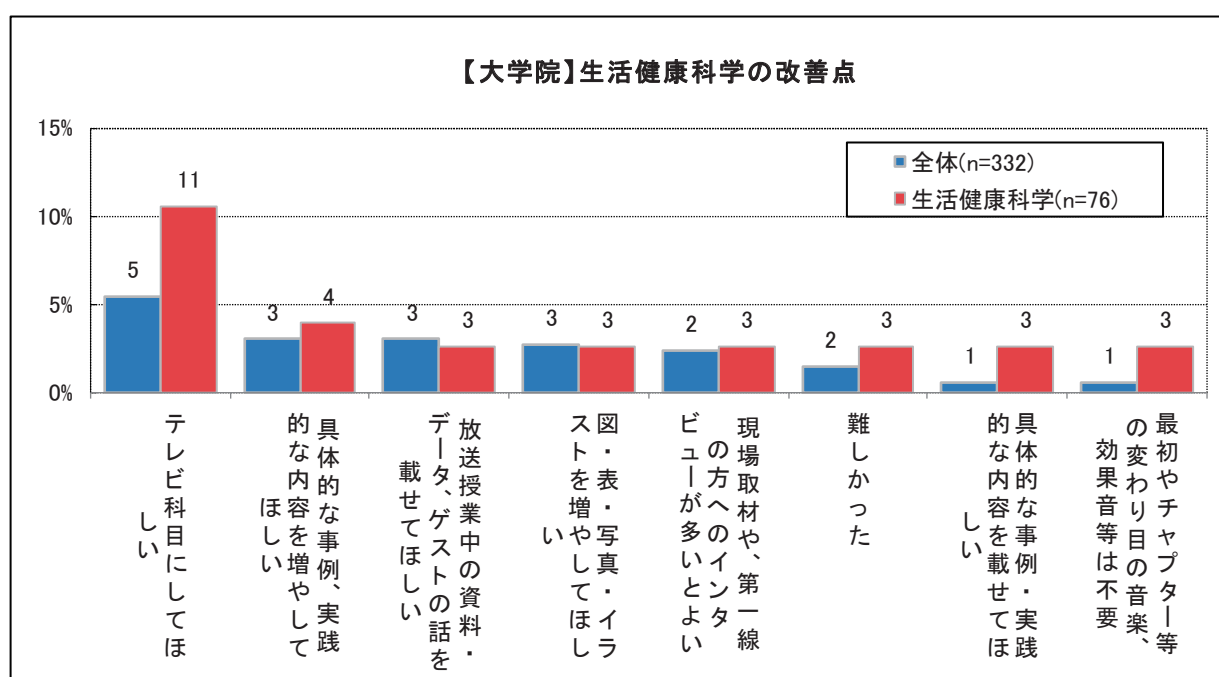


【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」が11%と最も高く、また、全体との差が大きくなっていった。そのほかでは、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が4%で続き、「放送授業中の資料・データ、ゲストの話を書いてほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」といった『印刷教材』に関する意見や「現場取材や第一線の方へのインタビューが多いとよい」「難しかった」、「具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい」「最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要」がそれぞれ3%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 現職の心理職です。知識をアップデートしようと思って受講しました。先生方の説明が大変聞き取りやすく、基礎的な事柄から新しい内容まで大変充実した内容で学習しがいがある科目でした。
- 先生の説明がとてもわかりやすく引き込まれた。精神医学の専門でない者への配慮に加え、現場や最新の情報を伝えようと考えて下さっている様子がよくわかった。
- 精神医学について、興味関心が高まりました。今後も勉強を続けていきたいと思います。
- 精神疾患とその治療について最新の情報を得ることができました。
- 知らなかった事や興味深い内容が学べて良かった。
- 精神的な疾患は身近に多く存在し、自分自身の不安症への理解も深まった。家族にも発達障害的な行動があり、今後も見ていきたい。
- 「うつ病の患者を励ましてはいけない?」「がんばれと言ってはいけない」という半ば常識化したフレーズは誤りである。(Page135)のように、既成概念を破り、専門家といわれる人々が言ってきたことを鵜呑みにしてはいけないことがわかって、反省するとともに、これからの学習姿勢に少なからず用変化がありました。石丸先生の講義にはこのような個所が多くあり、目を開かれました。よかったです。
- 駆け出しの精神科医として、基本的知識の勉強を改めてしたくて受講しました。なかなか放送教材の方は初めの方しか聞けませんでした。印刷教材は読み応えがありました。
- 精神医学に関して最低限の必要な知識は得られたと思えた。
- 普段の仕事で、精神疾患や発達の問題を話題にせざるを得ない相談業務をしているので、言葉で聞く疾患名と特性が概要であってもわかり、理解が深まったように思います。
- 統合失調症に対する理解が深まり、また試験の結果も納得がいく結果となりました。大変満足しています。
- 体系的な理解が深まった。
- 現場の人の声を聞くことができ、イメージして学ぶことができました。
- 先生がとても丁寧な言葉遣いであり、また講義を通じて、学生に対して理解して欲しいと願う熱意を強く感じるものでもありました。受講できましたこと、心より感謝です。
- 豊富な参考文献紹介により、文献調査や研究意欲の湧く構成でもあった。
- 精神疾患の多彩な症状や経過、診断、治療等について理解を深めるとともに、精神医学の歴史や人類学的な視点を学び、精神医学の奥深さや広がりを感じることができました。生物-心理-社会の観点から精神疾患を見つめることで、更なる学びへの可能性に開かれていく思いがします。
- 視野がひろがった。
- 放送授業の内容がとても興味深く、また楽しく聞くことができました（同じ職場の人にも内容を伝えたりもしました。へー！と思うことが沢山あったので。）。
- 図表もわかりやすかった。
- 放送授業では、石丸先生と広瀬先生とのお話のやり取りがとても興味深く、大変楽しく拝聴することができた。
- 素晴らしかった。
- テキスト内容は分担されている先生によって若干難易度がありましたが、理解できるものでした。さまざまな角度から人権を取りあげている点は、今日的な課題とも繋がり、有意義に受講させていただきました。
- こ通信指導の添削のコメント量は、他科目と比較すると段違いに多く、その文面から石丸先生の熱意をとて感じられたことで、こちらの学びへのモチベーションの維持に多いに役立った。石丸先生、ありがとうございます！！
- 試験の回答が温かく、嬉しく感じました。個別でメッセージをいただけたこと感激いたしました。

【大学院】「生活健康科学」 抜粋

改善点

- ラジオ科目は視覚情報が提供されない分、集中して聞き取り必要に応じてメモを取るなどの利点もある。しかしながら、社会人が隙間時間を利用しながらの学習では映像科目へ統一頂くことで更なる理解の促進と効率的な学習に繋がると感じた。
- 事例が多くあれば理解がしやすいと思います。
- 少しは理解が深まったようには思いますが、難しかったです。
- 幅広い分野なので、15回でまとめるのは大変であろうと感じました。改善ということではないですが、今後も現役の先生との対談など、臨床現場の生のお話はぜひ入れて欲しいです。
- ラジオ放送において、最初の音楽や、途中の効果音など、講義以外の部分は、極力短くして欲しいです。・特に、最初の音楽は不要です。作る側としては、音楽を付けないと番組を作った気になれないのですが、聴く側としては、全く不要どころか邪魔なだけです。・作る側も、費用&時間を節約でき、聴く側も、労力&時間を節約でき、ウィン・ウィンだと考えます。
- 症例を増やして欲しい。
- 印刷教材は全体的に文字が多いため、後日確認をしたく、索引から探すのが大変だった。
- ゲストとの会話の内容も印刷ないし、オンラインで文字として残していただくと後学のために役立ちます。
- 心理系はラジオ科目も減らさないでほしい。
- 精神医学は内容が多岐に渡るため、全15回だけでなく、もっと回数を増やしてもよいのかもしれないと感じた。
- 高齢化社会が進展する中で、認知症が話題になります。認知症の診断に関して、とくに科学的な診断方法が今後期待されます。
- 医学関連の書物は高価なものが多いので、一般的な人にも入手が容易な書籍を紹介していただくと嬉しいです。
- 心理系科目の改訂頻度をもう少し多めにしていただきたい。
- 放送大学の専任の先生が担当されていたら、将来的に論文指導を受ける時にもっと役立つのではないかと感じた。
- 一講義の時間が長いのでもう少し短い方が集中しやすいと思います。
- 教材とのリンクをより分かりやすくしてほしい。
- 自然ときりはなすことが出来ない、生活態度が必要である例えば眠らない大都会、夜間労働、AIとの兼ね合いなど問題が山積されていると思う、このような点を、精神医学の問題としてゲストの方々と学習の工夫をお願いいたします。
- 学生との対話の時間を設けてみてはどうでしょうか。
- 放送中に出てきた、例えばILOの看護職員条約等について、放送大学附属図書館に参考文献が用意されていたり、関連するホームページがあれば、そのURLが印刷教材に載っていたりしたら、興味を持った学生は、もっと自分で調べられると思う。
- 印刷教材の方が新しくなってラジオの方が古いままなのか、教材のページ数が合わない点があったように思います。
- 可能な範囲で、映像科目で使用されるような要点を纏めたスライド資料の提供があるとよい。授業関連タブ内から履修科目に限り資料をダウンロードできるシステムがあると、テキストや講義の要点を振り返る際にも役立つと感じた。
- 放送授業の親しみやすさや新鮮さに比べ、印刷教材は一般的な情報が多いような感想をもちました。
- 通信指導の課題が他教科よりも難しく感じた。
- テストの設問が少なすぎる気がします。もう少し問題数の多い方がやりごたえあると思います。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		6	6
興味・関心が持てた		5	5
最新の情報・研究が学べた		4	4
新しい知識が身についた		4	4
深く学ぶ(考える)ことができた		4	4
基礎的な知識が得られた		2	2
今後役立つ内容だった		2	2
全体として満足している		2	2
体系的に学べた・理解できた		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	1		1
学習意欲・知識欲がわいた		1	1
視野が広がった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		3	3
理解しやすかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
コメント・対応が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった		6	6
講師が良かった		3	3
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		2	2
講師の熱意・熱心さが伝わった		2	2
楽しかった		1	1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった		1	1
対談形式の授業が良かった		1	1
良い授業だった		1	1

【大学院】「生活健康科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		3	3
難しかった		2	2
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい		1	1
最新の内容を講義してほしい		1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい		1	1
放送大学専任の講師の講義がよい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		2	2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		1	1
誤植がある		1	1
追加情報・追加教材がほしい		1	1
内容が浅い・少なすぎる		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を上げるべき		1	1
問題数が少なかった		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい

- 放送授業:最初やチャプター等の変り目の音楽、効果音等は不要
- 印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい

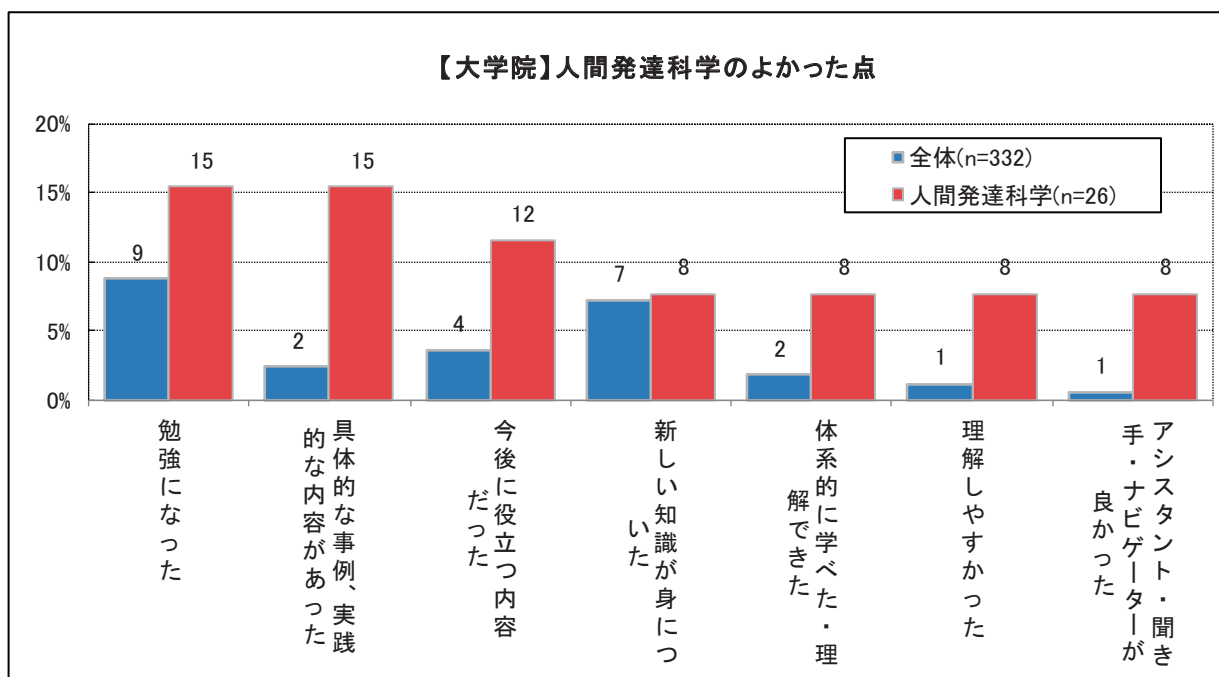
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「具体的な事例、実践的な内容があった」がそれぞれ 15%と最も高く、次いで「今後に役立つ内容だった」が 12%で続いていた。「具体的な事例、実践的な内容があった」は全体との差が大きく、人間発達科学の特徴的な項目となっている。

上記以外では、「新しい知識が身についた」「体系的に学べた・理解できた」「理解しやすかった」「アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった」がそれぞれ 8%で続いていた。

図 4 - 3 【大学院】よかった点

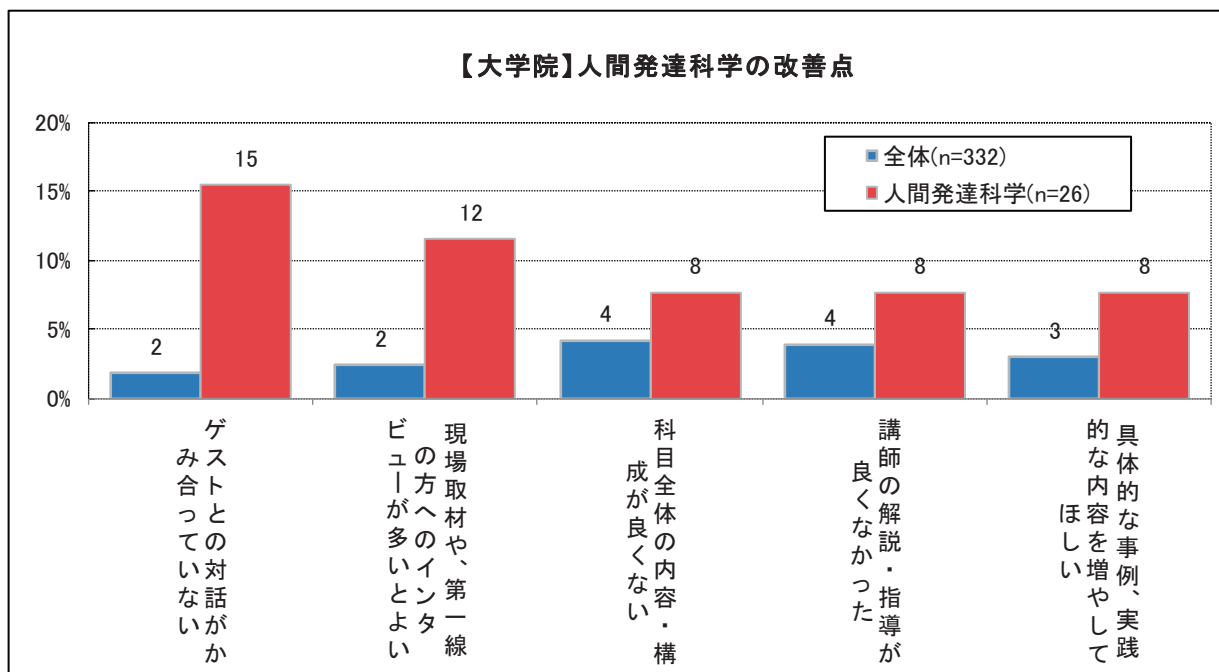


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「ゲストとの対話がかみ合っていない」が15%と最も高く、また、全体を大きく上回っていた。そのほかでは、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」が12%で続き、「科目全体の内容・構成が良くない」「講師の解説・指導が良くなかった」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」がそれぞれ8%で続いていた。

図 4 - 4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- エイジングをポジティブに捉え、高齢期を前向きに生きようとした地域の取り組みなどが知り得て良かった。
- 受講するまでは、高齢者が教育を受けることに関する学問だと思っていたが、学習を進めていく中で受け身の形だけでないということを知ることができた。また高齢者のみを焦点にあてているのではなく、世代間や地域のなかで考えていく者であるということを知ることができたことが良かった。
- 「教育老年学」という学問領域があることを知り、その概要を理解することができた。また、自分自身が高齢者になる直前で、高齢者の特性を踏まえた教育、学習支援の在り方を学べたことは、自身の学習計画を考える参考になる。「最適な加齢」を実現するため、実践に努めたいと思います。
- 公務員を定年退職後、放送大学に入学して、サークル活動なども始め、新しい考え方や、知識を得ることができて良かった。
- 教育老年学の概念や歴史的背景、今後の課題等が理解できた点。後期高齢者への対応は今後も重要課題だと思います。
- 人として避けて通れない「死」「エイジング」についての先人たちの研究について、よく理解できた。
- 放送のなかで、聞き手の方がいらしたのが良かったです。聞き手の吉田さんや三上さんの反応が、学習者側の視点で親近感を持ちました。
- この学問領域を自分の専攻分野にしていきたいと思った。
- 高齢期の学習について理解が深まった。
- 高齢期の課題を当事者だけの問題とするのではなく、社会全体として、「共に学ぶ」ことからとらえようとする学問だと感じました。このような視点は、これからの社会には大変必要かと感じています。
- 私自身の経験、現在の立場などがそのまま講義となっているようで、たいへん身近な学問として受講することができた。
- 社会教育士の取得を目指していたため、生涯学習の側面からも教育老年学を学ぶことができて良かったです。また、全体的に、すべての章が興味深く、受講して良かったと思いました。
- 自分の中だけでは整理しきれなかったものが整理できた。
- 実際の活動についての様子を聞かせてくれたが、とても楽しかった。
- Interview形式はわかりやすかった。
- 先生がよかったこと。
- ゲストとの掛け合いも、堅すぎず聴きやすかったです。

改善点

- ゲストとの会話がかみ合っていない点があり、何のためのゲスト登用なのか気になる点がありました。多様なゲストの登壇は意味がありましたが、老年に達していないゲストと教授の質問の意図とで、すれ違いがあったようで、期待する返答がなく盛り上がりには欠けました。
- 現場で活動されている人の体験談が多いと面白いと思う。
- 学校教育との比較をもっと多く取り上げた方が理解しやすいと感じた。
- 主任講師の日本語の使い方、講義の仕方を学習してほしい。日本語の表現がおかしな場面が多かった。
- 高齢者と雖もいろいろなケースがあると思うので個々に対応する事例などをもっと豊富に取り入れて欲しいと思います。
- 最新の論文の知見を織り交ぜてほしい。
- 受講することで何を理解できるようになってほしいかが理解できなかった。研究内容を理解する人と実践で理解する人が両立できる内容だということ。この科目の存在自体が課題だということはわかりました。
- 放送ではなく、面接授業が好ましいと感じています。
- ゲストの方の、老年教育についての、実例を、もう少し多く聴きたかったです。
- 研究者同士の対談といった回があってもよいのではないのでしょうか。
- ラジオ授業の限界かもしれませんが、テキストの内容を棒読みになることが多いので面白味に欠け、理解が進みにくかった。
- 言葉の表現を断定する部分を増やして、講師の意思を伝えてほしい。聞き手はいなくてもよいのでは。
- 参考文献について研究成果なども踏まえて提示していただきたい。
- 科目内容が理解出来ているかをチェックする簡易試験を各単元に付けて欲しい。
- 認定試験で論文形式が久しぶりだった。とても緊張し思うように書けなかった。論文の書き方ポイントなども指導していただけると嬉しい。
- 新設科目でもあり、初めてのオンラインでの単位認定試験でもあったので、受検の要領を今一步掴みにくく、自分なりによく学習した割には満足のいく解答が出来なかったのが残念である。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容があった			4 4
勉強になった			4 4
今後に役立つ内容だった			3 3
新しい知識が身についた			2 2
体系的に学べた・理解できた			2 2
理解しやすかった(科目全般)			2 2
学習意欲・知識欲がわいた			1 1
視野が広がった			1 1
深く学ぶ(考える)ことができた			1 1
身近に感じられる内容だった			1 1
全体として満足している			1 1
知識の整理に役立った			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった			2 2
楽しかった			1 1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった			1 1
講師が良かった			1 1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた			1 1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい			2 2
最新の内容を講義してほしい			1 1
難しかった			1 1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
ゲストとの対話がかみ合っていない			4 4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい			3 3
科目全体の内容・構成が良くない			2 2
講師の解説・指導が良くなかった			2 2
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった			1 1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい			1 1
講師の熱意が伝わらない			1 1
講師以外には必要ない・違和感がある			1 1
参考となる事例や資料の紹介がほしい			1 1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない			1 1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式、および記述に関して改善してほしい			1 1
受験の要領がわかりにくい			1 1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:ゲストとの対話がかみ合っていない
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった
- 放送授業:ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい

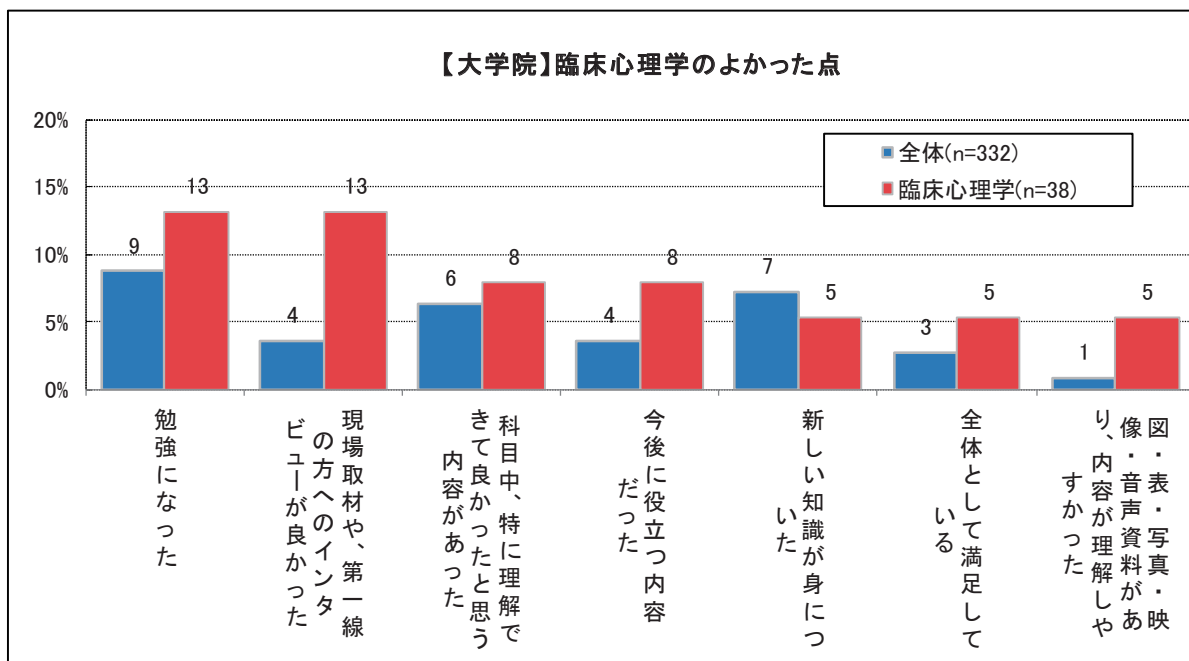
【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」がそれぞれ13%と最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「今後役に立つ内容だった」がおおの8%で続いていた。中でも「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」は全体を大きく上回っており、臨床心理学の特徴的な項目となっていた。

他では、「新しい知識が身についた」「全体として満足している」「図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった」がそれぞれ5%で続いていた。

図4-5 【大学院】よかった点

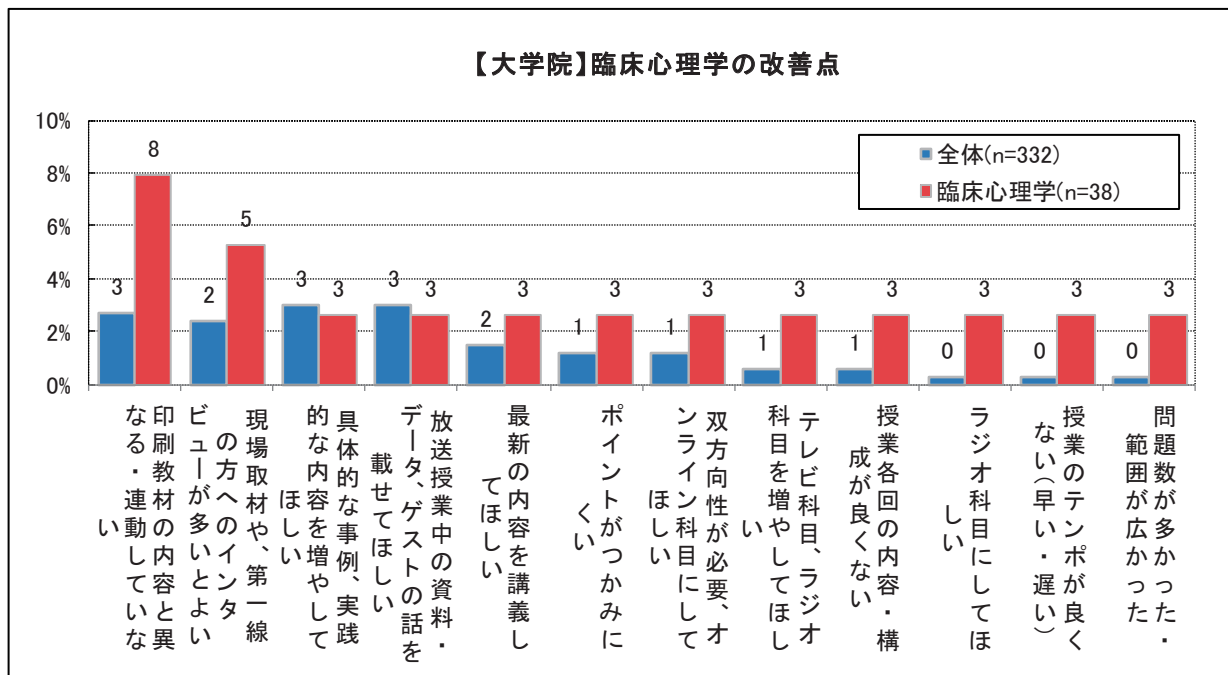


【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「印刷教材の内容と異なる・連動していない」が8%で最も高く、また、全体を大きく上回っていた。そのほかでは、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」が5%でこれも全体を上回っていた。後は、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」などが3%以下で続いていた。

図4-6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 現場で働く方のお話だけでなく、医療現場のシステム、取り組みもよくわかり、とても参考になりました。
- 保健医療分野については、これまで臨床的な立場では、あまり身近に感じられる分野ではありませんでしたが、現場の方の生の声をお聞きすることが出来たことは、大変有意義でした。
- 公認心理職という新しい名称の病院内での職業について、臨床心理士との違いや、求められる役割や意義を、明確に知ることができて、よかったと思われる。新しい科目なので、細やかな工夫や努力の様子が滲み出ていて、講師の先生やゲストの意気込みがうかがえる。
- 普段包括支援センターで相談業務をする中で参考になる内容があった。
- 今まで知らなかった施設や活動内容を知ることができた。
- まだ本格的な受講をしていませんが、十分な内容だと思います。
- テレビ科目と言うこともあり、ロケ先の状況について映像を見ることによって理解が進んだ。
- 医療と心理学について複数の視点から考える事ができ、興味が持てた。
- 具体的な事例を取り上げられていてとても参考になった。
- 保健医療心理学について学び理解を深めることができたと思う。
- 聞きたかった先生の授業を聞くことができたこと。
- 講師の先生の話が丁寧で分かりやすかった。
- ここまで広く、そして専門的な外部機関、そして充実したゲストのお話をうかがえる機会はそうそうあるものではないと感謝しております。新型コロナの状況において、教材作成やロケを行われた先生方の大変さは想像を絶するものでもあります。本当にありがとうございます。
- 「保健医療心理学特論」小林先生はいつも工夫された授業内容となっており、今回も多くの講師の先生方が各専門分野での講義が聞いて大変良かった。

改善点

- 放送教材と、印刷教材がかけ離れすぎる。バラバラと、よくわからない。
- 施設の職員が直接インタビューに答え実際の支援の現場の内容が伝わって来た。可能ならば当事者の意見や話しを増やしてもらおうと実際の困りごとや臨床相談の様子が伝わって来ると思います。個人情報問題もあり難しいとは思いますが。
- テレビ科目が少ないと感じます。
- 実践も学びたい。
- 芸術療法や新しい心理療法の試みなど新しい動きをもっと積極的に取り入れて欲しいです。
- ゲストの話が多すぎる。結局何か言いたいのかよくわからない。ポイントを絞ってほしい。
- テレビを視聴する時間がなかなか作れないので、ラジオにしてほしかった。
- 私はスマホなど耳から受講することがほとんどであり、テキストはあとで読むなどの対応をしています。あまり図表を利用されると頭に入らないので、言葉でも理解できるようにしていただければ有難いと感じています。
- 双方向通信できるといいなと思う、学生と先生と一緒にコミュニケーションできる場があるといいと思う。
- テロップなどのアップの時間をきちんととってほしい。
- テレビ授業で提示する図表は全てテキストに入れた方が一過性にならず理解も深まると思います。
- 私には、単位取得試験の問題数が多すぎた。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	5		5
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3		3
今後に役立つ内容だった	3		3
新しい知識が身についた	2		2
全体として満足している	2		2
興味・関心が持てた	1		1
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	5		5
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2
講師が良かった	1		1
講師の解説が分かりやすかった	1		1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	1		1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

【大学院】「臨床心理学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材の内容と異なる・連動していない	3		3
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
ポイントがつかみにくい	1		1
ラジオ科目にしてほしい	1		1
授業各回の内容・構成が良くない	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広がった	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:印刷教材の内容と異なる・連動していない
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 最新の内容を講義してほしい
- 放送授業:ポイントがつかみにくい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 単位認定試験:問題数が多かった・範囲が広がった

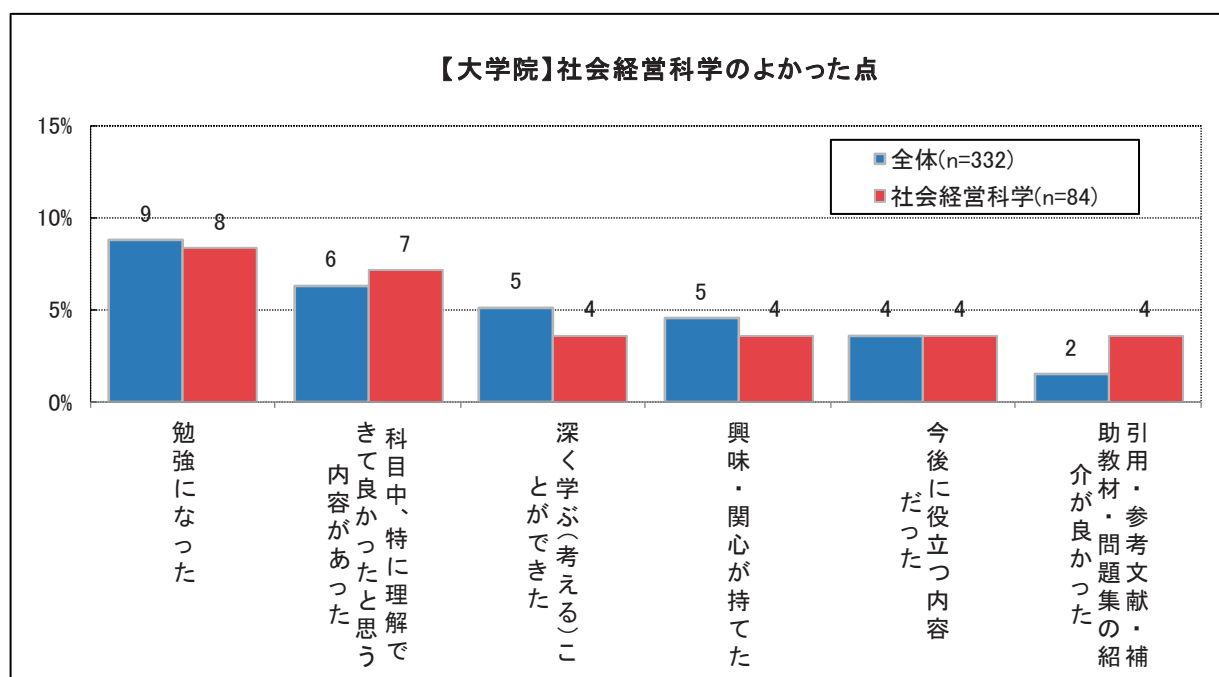
【大学院】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」が8%で最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が7%で続いていた。

他では、「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「今後に役立つ内容だった」「引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった」がそれぞれ4%で続いていた。

図 4-7 【大学院】よかった点

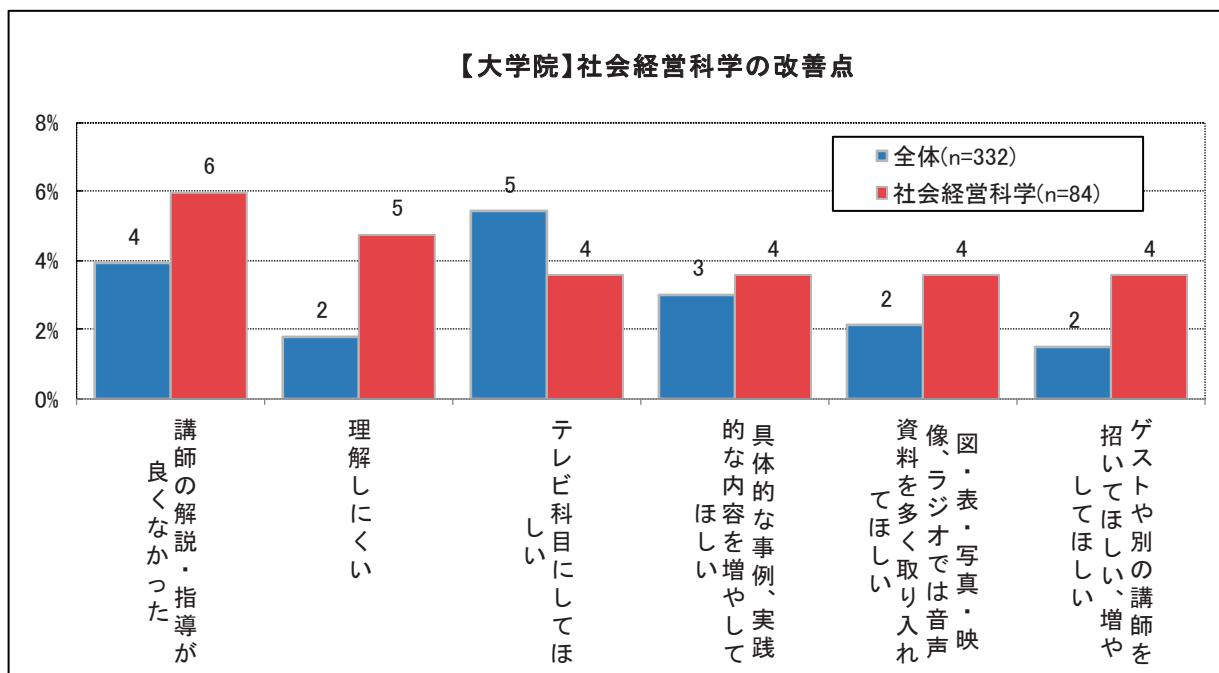


【大学院】「社会経営科学」の傾向

改善点

「講師の解説・指導が良くなかった」「理解しにくい」がそれぞれ5%以上で、全体を上回っていた。そのほかでは、「テレビ科目にしてほしい」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい」がそれぞれ4%で続いていた。

図 4 - 8 【大学院】改善すべき点



【大学院】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 私にとってやや難しかったが、様々な切り口での講義でとても為になった。
- 経済政策を考える上で、自分の場合、歴史的観点が抜けていて、講義をうける中で、歴史的背景の重要性が認識できたことです。
- 様々な参考文献の紹介で、さらに学習を深めていきたいという意欲を持つことが出来ました。特に第3部の多様な労働者たちの章は、知的な好奇心をかき立てられました。
- 今まで学習していない分野でしたので、大いに興味がわき、これからもこの分野のことを続けて学習してみようと思いました。
- 私は2021年11月に、人事関係の部署に初めて配属されました。この授業では、業務に直接関連することが数多く説明されるので、業務を進めて行くうえで非常に役に立ちました。
- ロールズ及びその後の分析的政治理論の最新状況と課題について、理解を深めることができた。5年前に学んだ「公共哲学」を復習し、より理解を広げることができた。
- 人的資源管理の基礎を振り返ることができたこと。
- 自分の視野が広がった。とくに原発の責任について。
- 公共政策という科目に殆ど知識がなかったが、その内容に多少とも触れることができたのは良かった。
- 職務給、職能給等の違いがわかり、一平社員として身に染み渡る内容でした。
- この分野の最近の体系的な知識を得たこと。実務に密接に関わり、日常的な出来事の理論的な分析視点が身に付く機会になる。
- 印刷教材が例えば、()書きや参考文献の数など、詳しく記述されていて今後も参考書代わりとなりそうです。
- 私の中では経済学と政治学は両者間で距離がある、異なる科目の印象だったが、本講座を通じて両者の接点のような概念を考えるきっかけになった。すなわち、経済学でも正義論のような概念を扱うことがあると知り、大変興味深く、楽しく受講できた。
- 経済政策がわかった。特に現代の問題がよくわかった。
- 内容が十分、高度であった。
- 内容的には難解であった。でもじっくりと取り組めば面白い内容だと感じています。1学期は試験は見送り、2学期も引き続きじっくりと学ぶつもりです。
- 考え方の整理が出来た。
- 新規改訂科目だったので、内容が新鮮に感じられた。
- 以前から関心をもっていたロールズの思想とその批判文脈や継承された現代の課題がよく理解できた。
- 放送授業は、面白くとても興味を惹きつけられるものでした。
- 印刷教材にはない具体的な事例も学べたのでよかったです。
- インタビューは臨場感があり興味深い内容で良かったです。
- ゲストが第三者的にポイントを質問していたところ。議論となるべきところがよく分かった。
- 印刷教材にグラフが載っていて、根拠となる数字を参照しながら日本の行政・政策に関する理解を深めることができた。
- 2~8章までの事例集のような部分で、自分の抱えている問題分野以外の事を知った。
- エイジングをポジティブに捉え、高齢期を前向きに生きようとした地域の取り組みなどが知り得て講義レベルは想定したよりかなり高く、学習不足を認識したため今回は単位取得試験の受験を見送った。通信課題提出後に担当教授から厳しいコメントを頂いたお陰で大学院での学習・研究に対する意欲が高まったこと。

【大学院】「社会経営科学」 抜粋

改善点

- もう少し基礎からの理論的説明を強化した方が理解しやすいと感じた。
- 公共政策（17）のように、御厨先生、片山先生、増田先生といった県知事や大臣としての政策実務や深い政治論のある学者を講師に入れてもらいたかった。
- テレビで受講したかった。できればテレビでも受講できるようにしてほしい。
- 図表などは、もっと多いほうが理解の助けになると思います。抽象的な内容が多いので難しいとは思いますが。
- 学問だけでなく、現代の実際の社会での事例もあると理解がより深まると思う。
- 第三次産業が、多数占めてきた日本について評価制度をもう少し詳しく追及してほしい。感情産業として捉えられていたがそれに対する報酬や評価は日本のあるのかないのか。非正規雇用の比率がおおいなかで働いている人のモチベーションはどの様に生み出されるのか等デメリットとメリットをもう少し掘り下げてほしい。
- この科目はロールズの理論を軸に構成されているので仕方ないと思うのですが、政治理論は西洋由来のものだけで良いのか、例えば東洋思想（儒教、朱子学の最高善など）との関連はあるのか、「公共哲学」の科目でもそうでしたが、東洋の視点も欲しかったです。
- 科目名「現実と向き合う政治理論」は釣りである。「ロールズについての一考察」の方が相応しい。羊頭狗肉感があった。お金と時間を無駄にした。
- 事前に印刷教材を読んで講義を受講したが、講義中、印刷教材のどの部分の話をしているのか、わからないと感じる部分がある。特に総括後の対談形式における質疑の内容が、主に章中のどの部分に該当するのか、ページ数や小項目を明確にしていきたい。
- 印刷教材の難易度が少し高い箇所がいくつかあった。その回の放送を繰り返し聞くことで大筋は理解できたが、未だに十分には理解できていないところも少なくない。ただ私の知識不足によるところも大きく、必ずしも「改善すべき」というべきものではないかも知れない。
- 記述式回答においては、今回から初めてWEBによる入力のためパソコン入力の個人的能力の違いがあるので、工夫若しは改善して頂けると有難いです。
- 組織論や、ダイナミックケイパビリティなどのテーマと、この人的資源管理との関連性は高いと思っています。企業成長との関連で、人的資源管理の分野ではどのように論じることが出来るのかを取り上げていただけるとありがたいです。
- 難しすぎた。入門編があればよいと思います。
- テレビだと画面を見れば要点がわかるが、ラジオの場合わかりづらいのでわかりやすくしてほしい。
- 全体的な平坦な内容で、どこがポイントかなどがわからないので理解に十分な時間がかけられない場面では理解がしづらかった。
- 印刷教材について、各回の最初にキーワードが載っていると情報を整理しやすくなるのではと思いました。
- 私見では放送大教材は、単著に優れたものが多く、執筆人数が増えると、通り一遍の身内の自己満足的なものになる傾向があります。
- 通信指導と単位認定試験がもっとリンクしていると理解が深まると思った。また、単位認定試験の回答例を見たが、教材や放送授業とリンクしている回答例とは思えなかった。
- 通信指導が難しかった。おそらく、C-2にあるようにどこが特に大事かを押さえきれなかった。
- 単位認定試験の問題は、設問文の趣旨が理解できなかった。「政治家の存在意義」、「専門家の活用」、「専門家の主張を実現する方法」がうまくつながっていないと思います。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		7	7
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		6	6
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった		3	3
興味・関心が持てた		3	3
今後に役立つ内容だった		3	3
深く学ぶ(考える)ことができた		3	3
基礎的な知識が得られた		2	2
視野が広がった		2	2
新しい知識が身についた		2	2
身近に感じられる内容だった		2	2
体系的に学べた・理解できた		2	2
楽しかった		1	1
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1
専門的な内容だった		1	1
全体として満足している		1	1
知識の整理に役立った		1	1
内容・構成が良かった		1	1
理解しやすかった		1	1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しかった		1	1
印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		2	2
図・表・写真・イラストが良かった		1	1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

【大学院】「社会経営科学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		2	2
科目全体の内容・構成が良くない		2	2
講義内容と科目名に乖離がある		2	2
内容・構成が良くない		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい		1	1
最新の内容を講義してほしい		1	1
幅広い視点でのカリキュラム編成してほしい		1	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説・指導が良くなかった		5	5
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		3	3
テレビ科目にしてほしい		3	3
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		3	3
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		2	2
理解しにくい		1	1
ポイントがつかみにくい		1	1
印刷教材の内容と異なる・連動していない		1	1
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい		2	2
内容・構成が良くない		1	1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる		1	1
索引を充実させてほしい		1	1
追加情報・追加教材がほしい		1	1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)が、単位認定試験と直結していない		1	1
理解しにくい		1	1
通信指導の解答はwebで確認できれば十分		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験時間が短い、入力が間に合わない		2	2
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		1	1
難易度を下げるべき		1	1
難易度を上げるべき		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 印刷教材:理解しにくい
- 単位認定試験:試験時間が短い、入力が間に合わない

【大学院】「情報学」の傾向

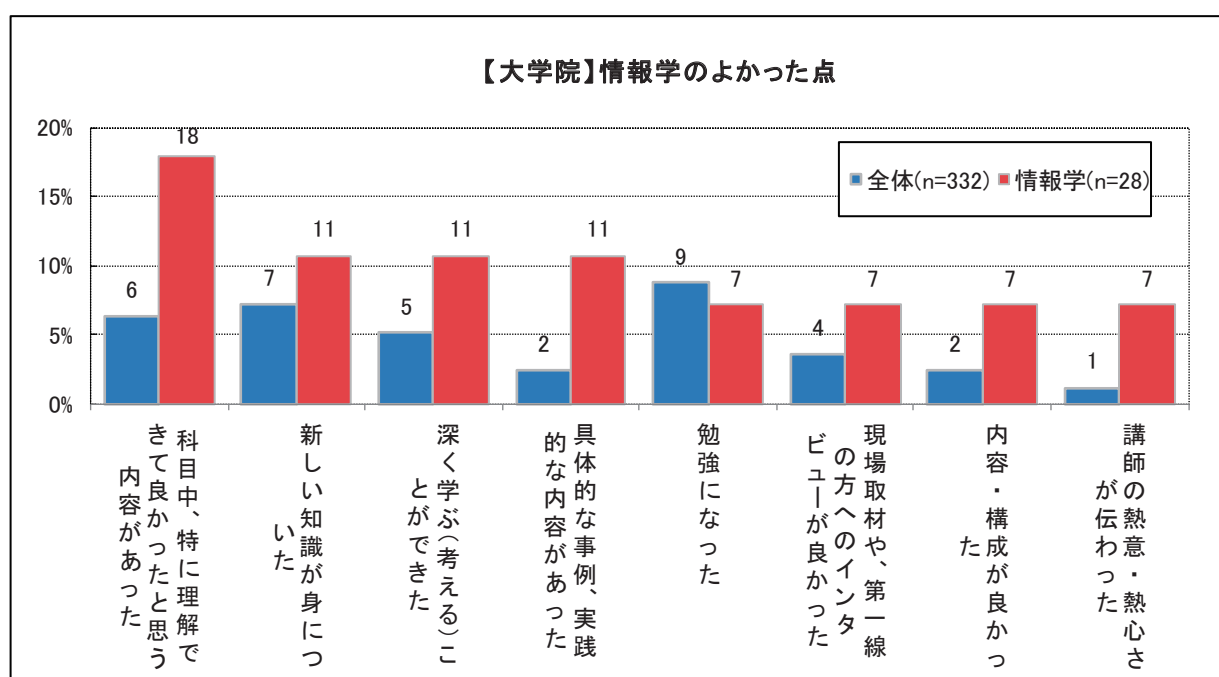
よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が18%で最も高かった。また、全体を大きく上回っていた。

次いで「新しい知識が身についた」「深く学ぶ（考える）ことができた」「具体的な事例、実践的な内容があった」がそれぞれ11%で続いていた。

他では、「勉強になった」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」「内容・構成が良かった」「講師の熱意・熱心さが伝わった」がそれぞれ7%で続いていた。

図4-9 【大学院】よかった点

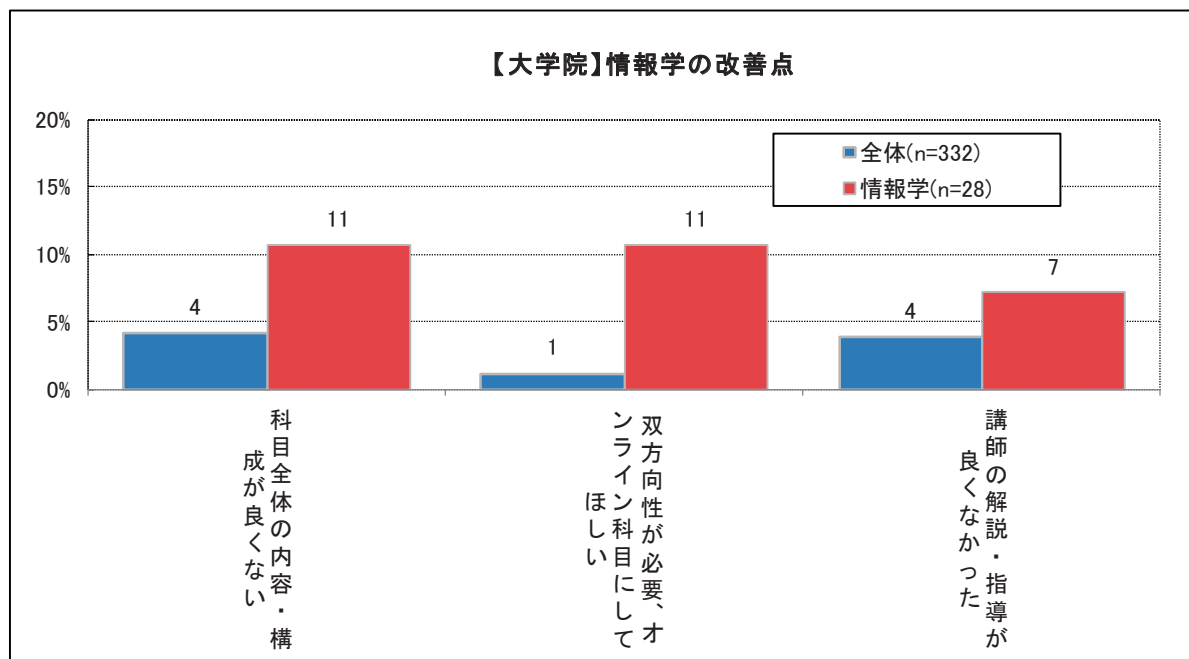


【大学院】「情報学」の傾向

改善点

「科目全体の内容・構成が良くない」「双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい」がそれぞれ11%で、全体を上回っていた。そのほかでは、「講師の解説・指導が良くなかった」が7%で続いていた。（複数回答があった項目のみ記載）

図4-10 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- デザインと情報技術の知識が豊富ではなくても、生活している中の知見を総動員して取り組むことができたこと。生活そのものが答えだと思えたこと。
- 情報とデザインの繋がりを「混雑ランプ」等の具体例を通して、知ることができた。情報がデザインと繋がると、いろいろと可能性が広がる領域や可能性があると感じた。
- 情報デザインという新しい概念に触れられた。
- デザインの意味について、掘り下げて考える機会となりました。初めのうちは、座談形式での授業の進め方に慣れなかったが、復習として再視聴するうちに解釈が深まりました。テーマとしてやや深い内容のため、理解するには時間がかかるテーマだと感じました。
- デザインをデザインテクニクや方法論にしなかった点がとても良かったと思います。
- 情報デザインという考え方とアプローチの仕方が大変勉強になりました。参考文献の幅の広さにも、知的好奇心を広め、高めるのに役立ちました。
- 通常の講義中心の授業とは違い、実際に行われたプロジェクトについて参加者の生の声を聴くことができてとても臨場感があった。
- デザインの領域の広い事を知る良い機会となった。そして、研究分野のさらなる広がりを目指している、先生方の意欲を感じることができたことに感動した。
- 受講当初は、新しい知識を覚えていく学習かと思っていたが、実際には、デザインとは何か？という思考を促す学習であり、そのことに興味を覚えた。
- 特論ということで中級以上の内容かと思うが、初学者の自分でも丁寧に授業を視聴しテキストを読むことである程度理解することができた。その結果、デザインの面白さや、これまで勉強してきた分野と共通点や相違点を見出すことができ、頭の中の整理ができた。またデザインに興味が変わりかけたことになった。
- 講師の方々が代わる代わるご自身の専門テーマについて講義してくださるので、毎回興味が尽きることなく視聴することができた。
- 中間レポートの課題が戸惑いつつも面白かったこと。またそのコメントに一種の励ましを感じたこと。

改善点

- 従前の手法、つまり、放送授業は講師が喋る姿をそのまま流す、教科書は論文的手法でテキスト化する、では、現代的な他の手法に比べ大きく解像度が劣ると考えさせられました。(率直な物云いをすれば、まともな感性と矜持と情報処理能力を持つ YouTuber に敵わない時代ゆえに。)
- オンライン授業で毎回アウトプットするほうが、理解が深まると考える。
- 教材の情報量が多く、事例の背景や展開などを詳細に説明されている点は、理解を深めるのに役立ちました。しかし、やや説明が過剰であるかなと思う点もなくはありませんでした。でもそれを短くしてしまうと、内容面で大事な部分が抜け落ちてしまいかねないとも思います。これでよいのかも知れません。
- 日本の心理学、精神医学があまりにも個人に集中しすぎていて、組織や社会を横断的に見る視点が欠けていることに長年、違和感を感じてきました。本講義や公共哲学の講義で、日本にも組織、社会を横断的に見る視点の研究者の方々がおられることに驚きましたし、発展版の講義に期待しています。
- プロトタイプでもよいが実際にシステムに触れるといいと思った。
- ネット配信だけだと混んでいると見られないので改善した方がよい
- 講義全体を通じて、何をもち「情報デザイン」というのがはっきりしなかった。科目の性質上、体系的に整理して講義するようなことは難しいのかもしれないが、授業の構成については改善の余地があるように感じた (ただ、これは上で評価した授業のライブ感を損なうことになるかもしれない)。

【大学院】「情報学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	5		5
具体的な事例、実践的な内容があった	3		3
新しい知識が身についた	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	3		3
内容・構成が良かった(科目全般)	2		2
勉強になった	2		2
興味・関心が持てた	1		1
今後役に立つ内容だった	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1
全体として満足している	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
講師の熱意・熱心さが伝わった	2		2
講師が良かった	1		1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	1		1

【大学院】「情報学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
内容が浅い	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目全体の内容・構成が良くない	3		3
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	3		3
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
システム面の改善が必要	1		1
ポイントがつかみにくい	1		1
印刷教材にない追加情報はテロップ等で表示してほしい	1		1
印刷教材の内容と異なる・連動していない	1		1
印刷教材をもっと活用してほしい	1		1
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
授業各回の内容・構成が良くない	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
色刷りにしてほしい	1		1
理解しにくい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい
- 印刷教材:色刷りにしてほしい
- 単位認定試験:試験時間が短い、入力が間に合わない

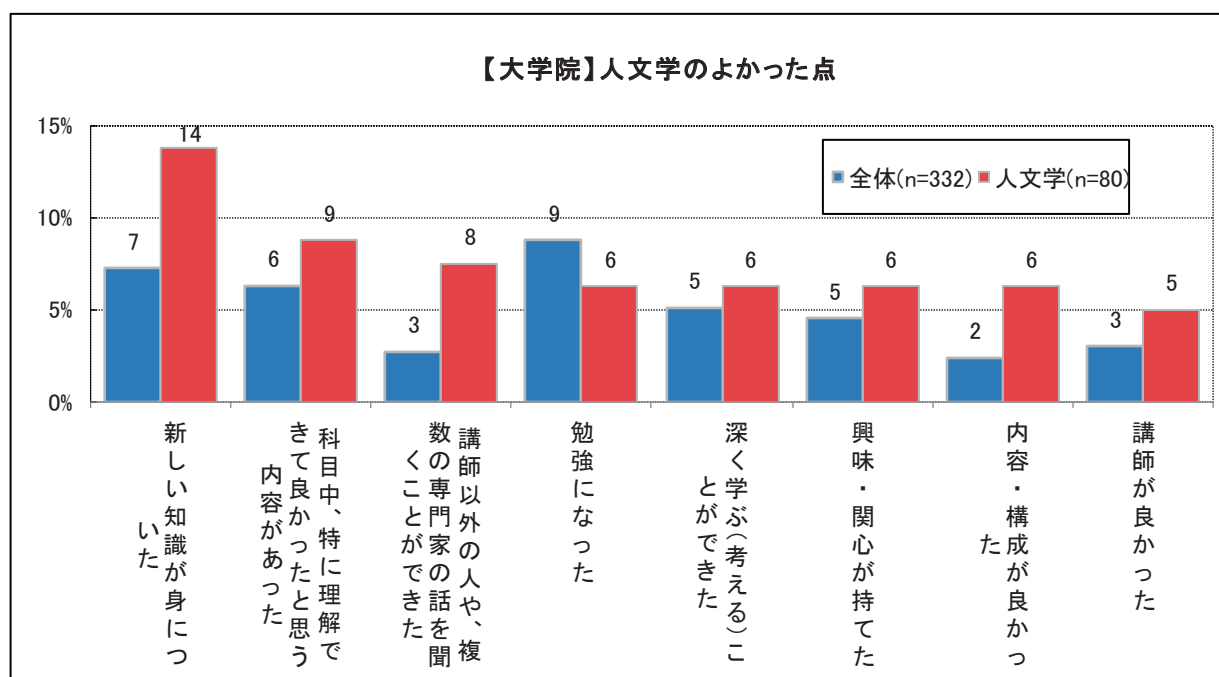
【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」が14%で最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%、「講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた」が8%で続いていた。

他では、「勉強になった」「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「内容・構成が良かった」がそれぞれ6%で続いていた。

図 4-11 【大学院】よかった点



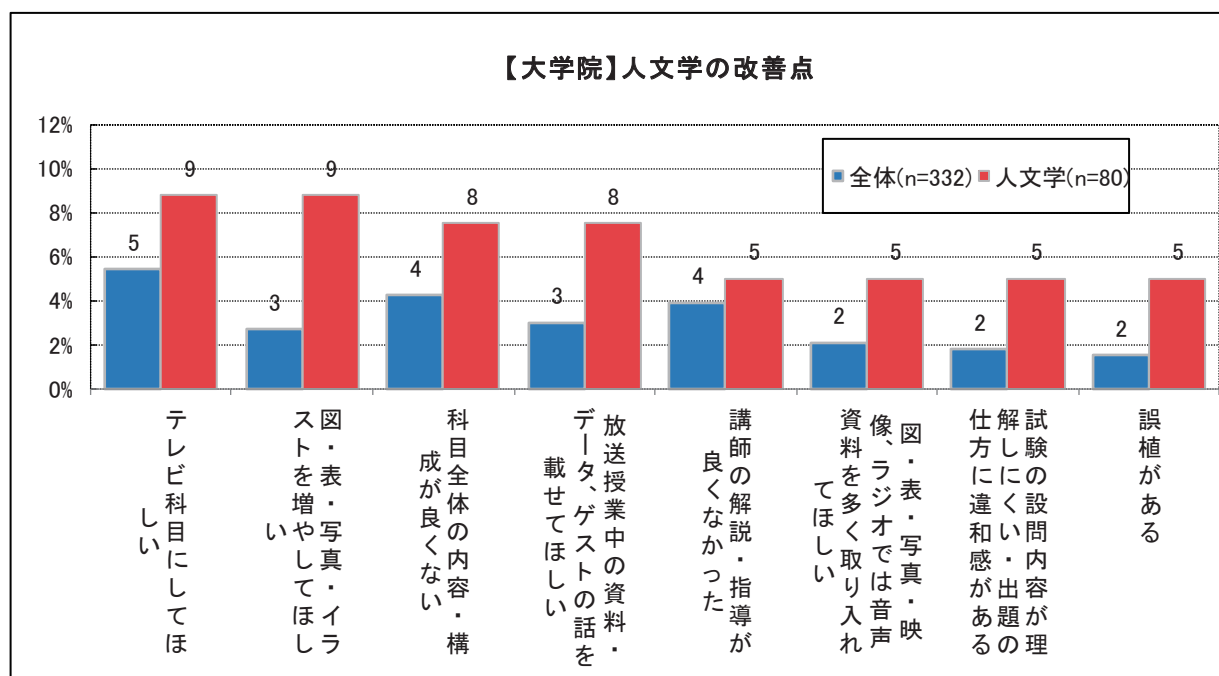
【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」がそれぞれ9%と最も高かった。

それ以外では、「科目全体の内容・構成が良くない」「放送授業中の資料・データ、ゲストの話載せてほしい」が各8%、「講師の解説・指導が良くなかった」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある」「誤植がある」などがそれぞれ5%で続いていた。いずれの項目についても全体を上回っていた。

図 4 - 1 2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 幾多のところ、歴史認識が変わった。例えば、仏教の日本化とか、関ヶ原の戦いで徳川方の大名の八割方は豊臣恩顧であり、戦後も京都より西は、外様大名ばかりであったことなど。
- 日本文化の全体像を捉えることができた。ある時代の文化はそれ以前の影響が強く残っているもの残らないものがあるのだが、その関連性がわかるようになった、と意識できるようになった。さらに、人々の考え方がどのようにしてできたのか、という点に入り込むことができたことはおおいに自分にとってプラスであった。
- 何回か外部講師の方の講義が挿入されており、内容の理解を深めることができた。
- 実用的かと言われるとそうではないが、教養としては、とても興味深い話題だった。社会人大学院という面ではこの科目はふさわしいと思う。
- 学習内容が大学院として考えさせられるところが多々あった。授業内容、単位認定試験共に自分がどう思うのか、どう考えているのかをベースに展開しなさいと度々指示されていた点には、なるほどと理解することができた。
- 日本史を文化的側面から縦断しており、とても興味深く日本人として自身のルーツの理解に繋がりました。
- 中国の音韻に対する理解が深まり、現代中国語を使い日中ビジネスに関わる者として、大変勉強になりました。
- それぞれの講師のテーマは興味深いものでしたが、特に宮本楊一郎先生、滝浦先生の講義から学ぶことと気づきが多かったです。ありがとうございました。
- 視野が広がった点。
- 更に研究意欲が湧きました。歴史は資料、事実への疑問など大変奥が深い。
- キリスト教の歴史、翻訳による影響、スモールタウン、直訳か意識かについて勉強できて良かったです。
- 参考文献も比較的に入手しやすいもの中心で手を出しやすく揃えることもできて（当然、買っただけで積読状態が大半だが）、これはこう読むのか！も含めて参考にさせてもらった。
- 最近の学説に触れられた事。
- 日本文化と思想の流れが、時代ごとによく整理されていて、大変分かりやすかったです。
- 幾人かへのインタビューやテレビ科目のロケの紹介も、変化があって面白かった。
- 大橋先生とNHKアナウンサーとの対話が、授業内容の理解を深めるのにとっても役立った。
- 野崎欽先生の講義に関心がありこの講義を選択したが、他の先生方のお話も興味深かった。
- 先生の講義は、前期にも「道を極める一日本人の心の歴史」を受講したが、レポート提出の成績に不満が残ったので、再度、新教材「日本文化と思想の展開一内と外と」の受講を決めた。日本の通史を復習し、新たに学び直すには適切な概説だと感じた。
- 日本語の言語文化に関心があったので、滝浦先生の授業が面白く、これまで以上に日本語への興味がわいてきた。

改善点

- 放送授業では音声だけでなく画像がある方がよく理解ができると考えます。
- 印刷教材は写真や図を増やしてもいいかと思う。
- 講師によって講義の内容の資質にかなりの相異があり、15回の講義の組み立ての趣旨が理解しがたかった。
- ゲストの方の専門的な話の内容が、テキストの中に更に分かりやすくまとめられていると、より理解しやすいと思いました。
- 先生の授業(放送)はボリュームに比べ内容が薄い感じがした。
- 去年の魚住先生の講座は映像があり、実に分かりやすかったが、初めてこの授業を取る方は、映像もなく、資料も少ないので、親しみが湧かないのではと思った。もっとビジュアルな内容がよいと思う。
- 単位認定試験の課題そのものが理解しにくかった。50分で800字をいきなり受験したので、まとめまることができなかった。受験者が練習を積んだ方が望ましいと思った。
- 科目開設の最初の授業、テキストなのである程度しょうがないと思いますが、誤植(明らかなもの)と、授業の話される項番とテキストの項番がズレているなどの、内容的には問題はないと思うが訂正は必要だと思うのでよろしくお願いします。1点だけテキスト p258【要旨とポイント】の最初の行で「一九六八年の明治維新」は「一八六八」で「九」は「八」の間違いですね。
- 印刷教材と放送授業の内容が大きく異なっていることが多く、どのページに書かれている話をされているのかわからなくなって迷子になることが多かった気がする。フラストレーションを感じた。
- 印刷教材には、参考図書の記載がありますが講義の中で若干でも参考図書の説明があれば自身としては助かります。
- なじみの薄い用語が結構頻繁に出てきたので、意味を理解するのに苦労した。学部の授業を受けていない学生でも理解できるように、解説が入っていればもっとわかりやすかった。
- 科目名は「異文化との出会い」となっているが、内容を見ると、少し言語の方面に偏りすぎているような印象を受けた。それでいて、周辺領域の問題も少しずつ採り上げたような形になっているため、全体として少し中途半端な感じを禁じ得なかった。以前開講していた「異言語との出会い」は、初めから言語の面に特化していたために、それぞれにかなり掘り下げた記述が多く、言葉に興味を持つ人々には、むしろその方が充実していたと感じるのではないだろうか。
- もっと深掘りしても良いかと思う。
- 中国語の内容については理解するのが難しいと感じた。
- インタビューに関しては、工夫が凝らされているが、ゲストによっては、対話というよりも一方的な話になっていて、もう少し一貫性が欲しかった。
- 印刷教材に書かれていない経験や具体的なことを放送授業で話していただけると、関心が深くなると思う。
- ゲストの話も興味深かったが、遠隔での録音のためか聞きづらい箇所が何か所かあったのが残念でした。

【大学院】「人文学」

よかった点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
新しい知識が身についた			11 11
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった			7 7
興味・関心が持てた			5 5
深く学ぶ(考える)ことができた			5 5
内容・構成が良かった			5 5
勉強になった			5 5
視野が広がった			3 3
学習意欲・知識欲がわいた			2 2
全体として満足している			2 2
楽しかった			1 1
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった			1 1
最新の情報・研究が学べた			1 1
理解しやすかった			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた			6 6
講師が良かった			4 4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった			1 1
対談形式の授業が良かった			1 1
複数の講師の講義を聞くことができた			1 1
良い授業だった			1 1
楽しかった			1 1

【大学院】「人文学」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい			2 2
講義内容と科目名に乖離がある			2 2
内容が浅い			2 2
難しかった			2 2
内容・構成が良くない			1 1
科目の分類に疑問がある			1 1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった			1 1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい			1 1
努力不足だった			1 1
内容の詰め込みすぎ			1 1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい			7 7
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい			6 6
誤植がある			4 4
印刷教材がほしい			1 1
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい			1 1
索引を充実させてほしい			1 1
内容・構成が良くない			1 1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい			7 7
科目全体の内容・構成が良くない			6 6
講師の解説・指導が良くなかった			4 4
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい			4 4
印刷教材の内容と異なる・連動していない			3 3
参考となる事例や資料の紹介がほしい			3 3
ゲストとの対話がかみ合っていない			2 2
印刷教材と異なる講義が聞きたい			2 2
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい			2 2
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった			1 1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい			1 1
ポイントがつかみにくい			1 1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい			1 1
放送時間が違う時間帯の方が良かった			1 1
理解しにくい			1 1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある			4 4
記述式、および記述に関して改善してほしい			1 1
試験時間が短い、入力が間に合わない			1 1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 印刷教材:誤植がある

Ⅲ-4. 大学院（オンライン授業）

ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどのような傾向にあったのかを見ていきたい。

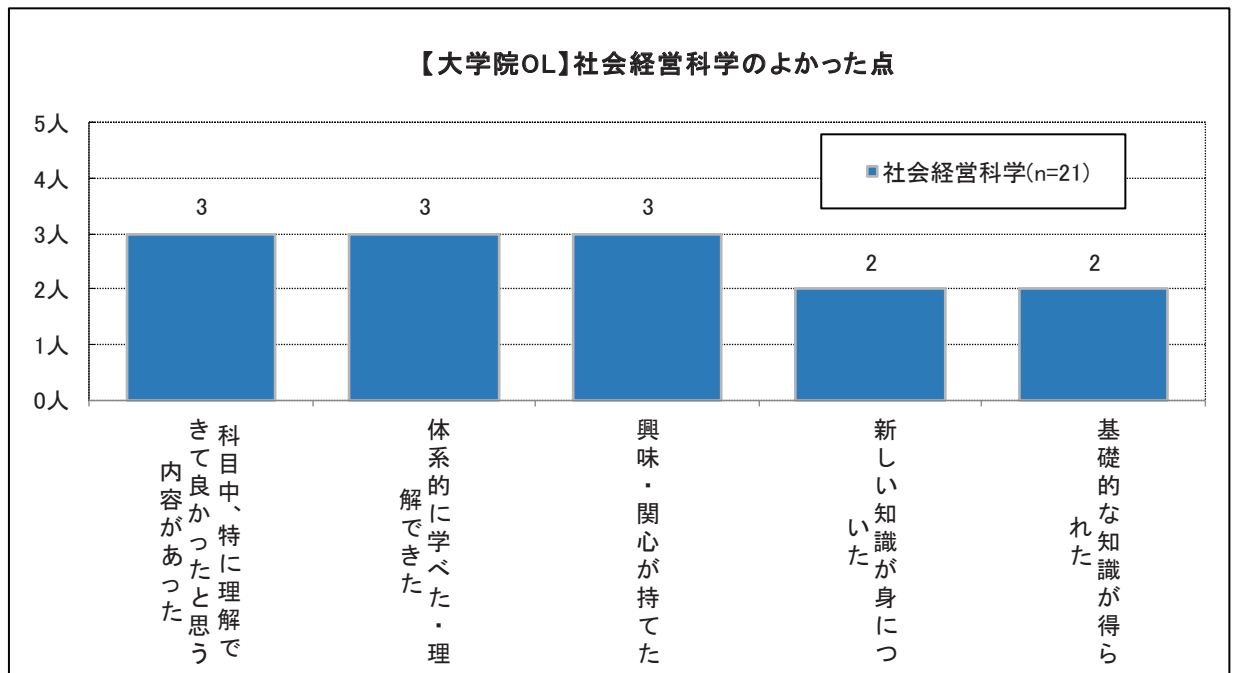
大学院のオンライン科目については、回答者が全体で 25 人と少ないため、複数の解答があった上位項目を掲載した。（社会経営科学：21 人、自然環境科学：4 人）

【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

よかった点

複数の解答があった項目は、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「体系的に学べた・理解できた」「興味・関心が持てた」「新しい知識が身についた」「基礎的な知識が得られた」などであった。

図 4-13 【大学院 オンライン】よかった点

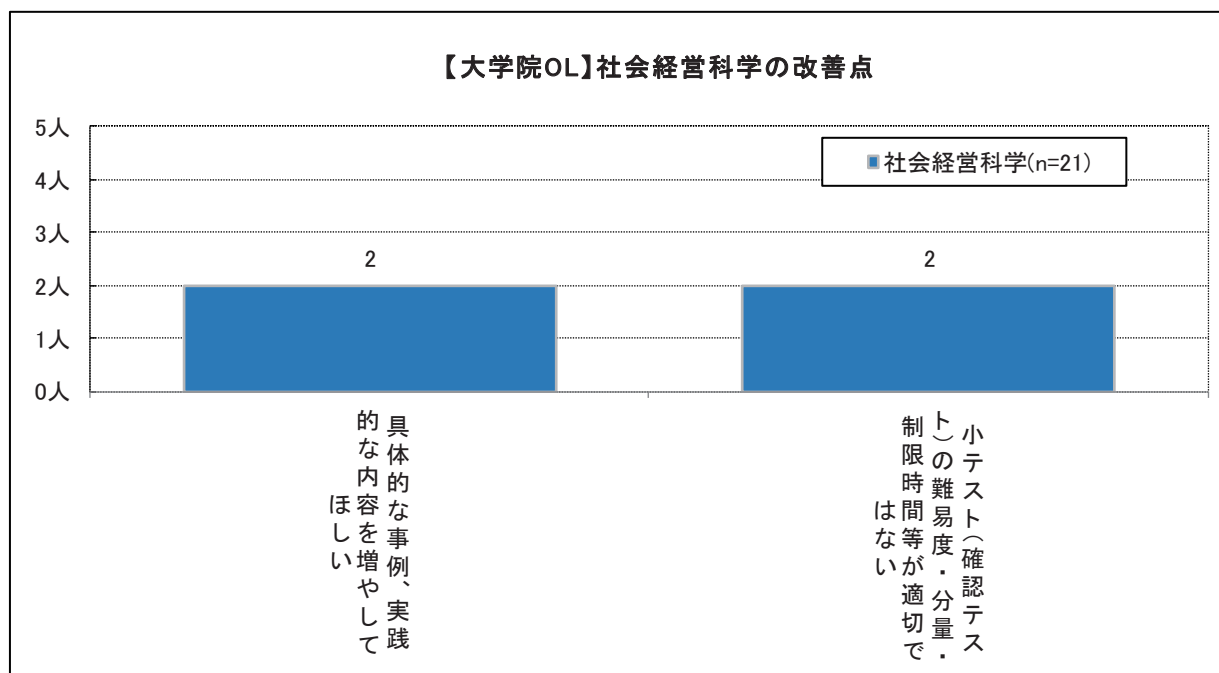


【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」点が挙げられていた。

図 4 - 1 2 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 李教授の温かいお人柄と、誠実で熱心な講義に対する姿勢が、メディア授業からとても伝わって来て「保険法」という殺伐としてしまうような授業も理知的に学習することが出来たと思います。李先生、ほんとうにありがとうございました。
- 知っているようで良く分からなかった分野だったので、新しい知識を得られた。
- 改正後の保険法について理解することができた。改正前については少しだけ学んだことがあったので、変更点がよくわかった。
- 保険の種類(生保、損保、自動車保険、地震保険他)について学べた、また、保険金の受け取り方の多様性を学べた。
- 保険加入者側の留意点等が理解できた。
- 保険法の基本について学ぶことができた。
- 保険法の概要が理解できた。
- 保険法について、漠然と必要な条文だけを必要に応じて理解していたつもりでしたが、体系的に学ぶことができ、各条文の意味するところがよくわかりました。
- 火災保険について体系的に学ぶことができた。持ち家に住んでいるので台風被害に見舞われるなどした場合には生かしたい。また、職場においても施設管理を含む管理職の立場にあり、大いに役立つ内容であった。
- 保険に関する体系的な知識と、実際の営業現場のことも理解が深まり、非常に優れていると感じた。
- 企業法務に関する仕事をしているが、保険法を通じて「契約法」に対する知見が深まりました。
- 契約法の特別法としての、保険契約についての理解が深まった。
- 保険について興味を持つことができた。自分に、もしもの時もしくは天災などがあった時に保険に入っていれば自分や身内を守ることができると授業を通して学ぶことができた。若いうちから保険に向き合うことができた。日本の保健法の歴史が学べたことは自分のスキルアップにつながったと考えている。素晴らしい授業であった。
- 保険法という、あまりなじみのない法律に触れることができた。直接仕事などに関係するわけではないが、興味深く学習することができた。
- 日常生活にも大変役立つ内容であるため、直接専攻したい内容でないにも関わらず大変興味深く学習出来たと考えている。

改善点

- ナレーターの説明について、早すぎて1度聴いただけでは理解できない部分があった。繰り返し視聴できるので問題はない。
- 法学の基礎知識がなければ厳しいと感じた。
- 保険の事例等をもっと取り入れて頂ければイメージとして理解しやすいかと思われる。
- 法学部出身者から見て講義の難易度は極めて適切でしたが、契約法を履修した者でないといつていくのが非常に難しいように思います。「保険法」科目の位置づけに対する考え次第ですが、当該科目を応用科目として位置付ける場合、一般科目として契約法等の科目が必要と考えます。
- 論点をもう少し、判例、事例が欲しかった。
- 科目というわけではないが、オンライン科目についても冊子のテキストもあると学習しやすい様に思う。
- 小テストに関して、趣旨が理解しにくい設例がいくつか見られた。
- 小テストの設問数はもう少しあった方が、内容の理解の確認になるのではないかと思う。

【オンライン大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3
体系的に学べた・理解できた	3
興味・関心が持てた	3
新しい知識が身についた	2
基礎的な知識が得られた	2
最新の情報・研究が学べた	1
知識の整理に役立った	1
深く学ぶ(考える)ことができた	1
身近に感じられる内容だった	1
勉強になった	1

オンライン教材	
意見	合計
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
複数の講師の講義を聞くことができた	1

【オンライン大学院】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2
内容が専門的で難しかった	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1

設問解答	
意見	合計
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	2

講義ノート・テキスト	
意見	合計
オンラインであっても冊子のテキストが必要	1

オンライン教材	
意見	合計
1講義の収録時間が良くなかった	1
ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)	1
ナレーターは必要ない	1

主な改善点の提案:集約

- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 設問解答:小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない
- 内容が専門的で難しかった

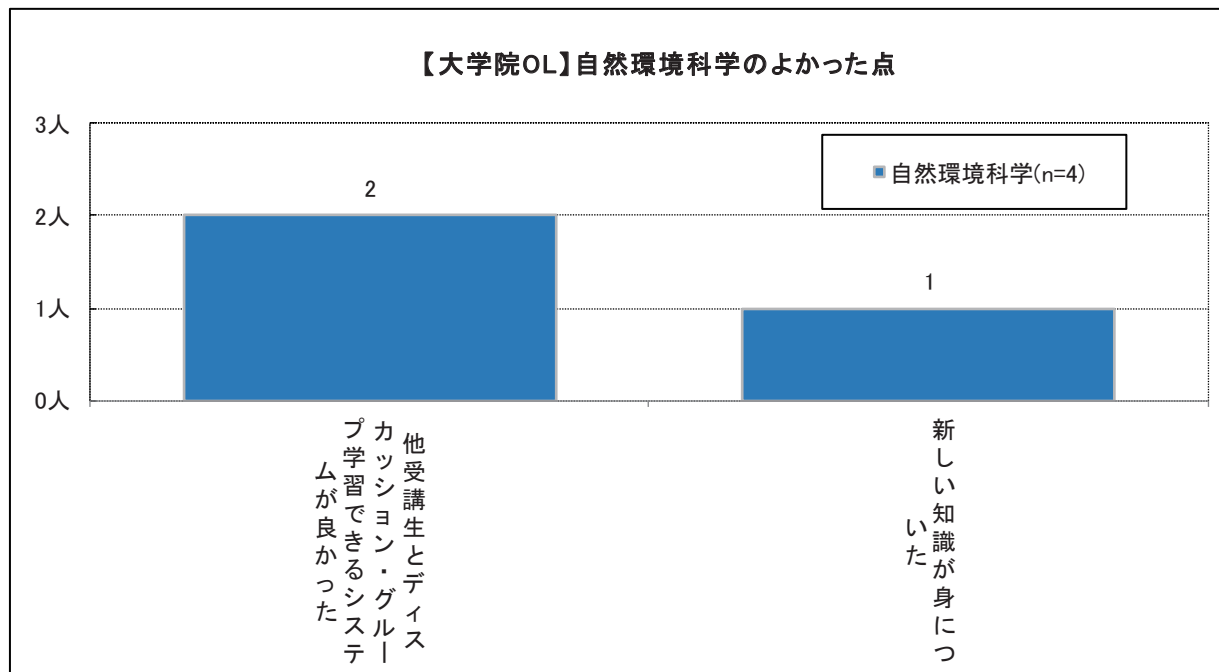
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 講義ノート・テキスト:オンラインであっても冊子のテキストが必要
- オンライン教材:1講義の収録時間が良くなかった
- オンライン教材:ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)

【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

よかった点

よかった点としては、「他受講生とディスカッション・グループ学習できるシステムが良かった科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「新しい知識が身についた」点が挙げられていた。

図 4 - 1 5 【大学院 オンライン】よかった点

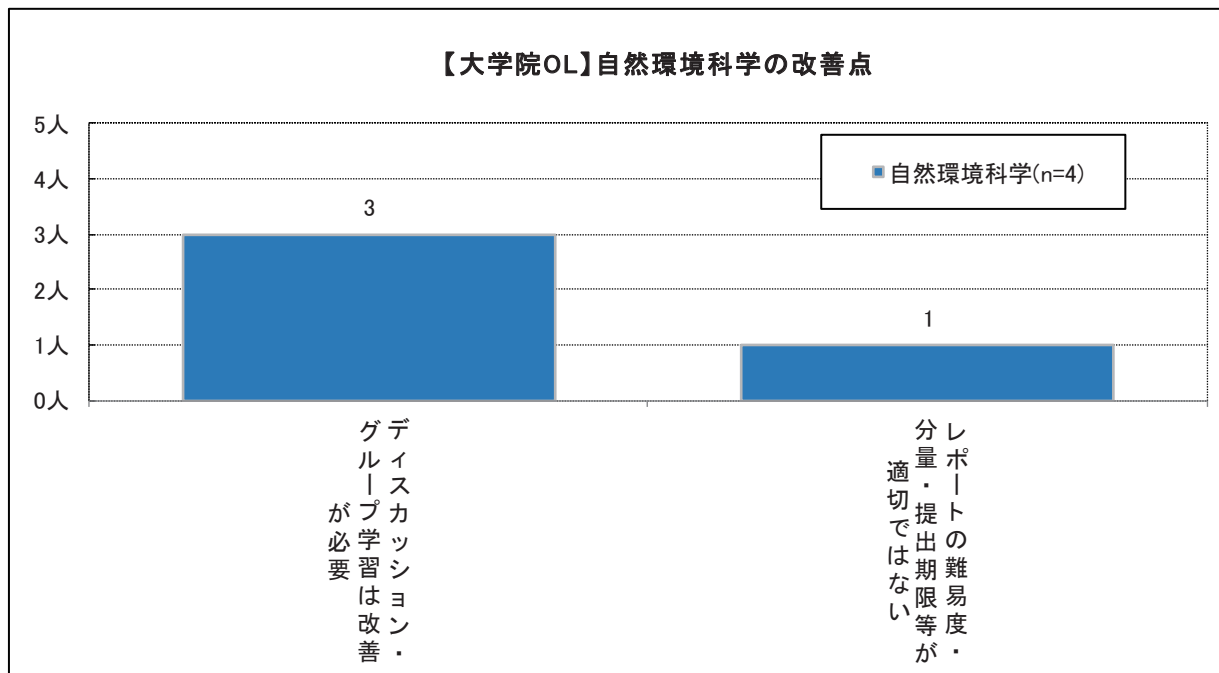


【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」点が挙げられていた。

図 4 - 1 6 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 新しい知見を得られた。
- オンラインでありながら、他受講生とのディスカッションができる授業の仕組みを作っておられるのは素晴らしいと思いますし、実践を通した学びが深まりました。
- 受講者で共同作業を行い理解が深められた点。

改善点

- グループ学習に入ってから、各回の課題の締め切りが少しわかりにくいと感じました。次の講義を予習的に見ることで分かることも多々ありましたが、今回は締め切りの課題なのか、次回が締め切りの課題を先取りして言われているのかを、その週の講義またはメールで、もう少し明言していただくと、グループでの作業がしやすいと思いました。
- システムが使いにくいいため、グループ学習のコミュニケーションが十分に取れず実施の難しさを感じました。
- ディスカッションへの参加が今回初めてだったが、能動的に注意していないと参加しそびれる点があるのでシステムや参加方法の改善が欲しい。
- レポートのファイル容量が大きいので、初期設定でご配慮いただけると良い。今回は講師が別の保存領域を作ってください。

【オンライン大学院】「自然環境科学」

よかった点

科目全般		設問解答	
意見	合計	意見	合計
新しい知識が身についた	1	他受講生とディスカッション・グループ学習できるシステムが良かった	2

(単位:人)

【オンライン大学院】「自然環境科学」

改善点

設問解答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1

オンライン教材	
意見	合計
ディスカッション・グループ学習は改善が必要	3

(単位:人)

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:ディスカッションは改善が必要
- 設問解答:レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない